2025年度一宮市住宅用地球温暖化対策設備設置補助金実績報告書

記入例

提出する日の日付を記入

(あて先) 一宮市長

交付決定通知書の右上に記載の番号を記入

25一宮環政指令第1号
2025年4月10日

補助対象者

交付決定通知書

※分からない場合は空欄で構いません。

〒	491 - 0201
住所	一宮市 奥町字六丁山52番地
氏名	一宮 太郎
電話番号	(0586) 45 - 9953
メール	

メールアドレスの記入は任意です。
※実績報告内容についてお問い合わせさせていただく際や、設置から数年経過後に使用状況を確認させていただく際に使用します。

25一宮環政指令第1号で、交付決定の通知を受けた住宅用地球温暖化対策設備設置事業が完了しましたので、2025年度一宮市住宅用地球温暖化対策設備設置補助金交付要綱第10条の規定により、次のとおり報告します。

該当する項目にを入れてください。

設備	太陽光パネル公称最大出力合計値			交付申請額
	① 新設分の 公称最大出力値	② 既設分の 公称最大出力値	③ 合計公称最大出力値 (①+②)	
☒ A 太陽光発電システム+蓄電システム+HEMS	3.720 kW	0.000 kW	3.720 kW	120,000円
☐ B 太陽光発電システム+V2H+HEMS				
☐ ZEH 太陽光発電システム、HEMS、高断熱外皮等(ZEHを構成する設備)	<p>【今回初めて太陽光発電設備を設置した場合】</p> <p>「①新設分の公称最大出力値」に設置する太陽電池モジュールの出力合計値を記入し、「③合計公称最大出力値」にも同じ値を記入</p> <p>【増設の場合】</p> <p>「①新設分の公称最大出力値」に今回設置した太陽電池モジュールの出力合計値を記入し、「②既設分の公称最大出力値」には交付申請以前に設置された太陽電池モジュールの出力合計値を記入する。「③合計公称最大出力値」には①と②の合計値を記入</p>			
☐ 燃料電池システム				
☐ 蓄電システム				
☐ V2H				
補助金交付申請額合計	120,000円			

既存住宅の場合、設置完了日を記入

例) ①2025年4月25日

②2025年5月15日

③2025年4月10日

⇒この場合、②の日付を記入

【新築住宅の場合】 住宅の引渡し日	年 月 日
【既存住宅の場合】 対象設備の工事着手日	2025 年 4 月 25 日
事業完了日	2025 年 5 月 15 日

※設置完了日とは下記の①～③のうち最も遅い日

①補助対象設備の保証開始日

②補助対象経費の支払いが完了する日

③(太陽光発電一体型及びZEHの場合)再生可能エネルギー発電事業計画の認定日

【確認事項】

本補助金の交付事務に必要な内容に関して、住民基本台帳を閲覧することに同意します。
※同意しない場合のは不要です。代わりに住民票を提出してください。

※添付書類について必ずご確認ください。

住民基本台帳への閲覧に同意される場合に限り、住民票の添付は不要です。

行政使用欄

求書有無

住所確認

有・無

住民票

住基

添付文書（提出前に確認のうえ、□に✓を入れてください。）

【共通】

- 2025年度一宮市住宅用地球温暖化対策設備設置補助金概要書（様式第9号）
- 補助対象経費に係る領収書の写し ※領収書発行不可の場合は、領収証書の写し
- 設置後の補助対象設備が全て確認できるカラー写真
- 設置後の補助対象設備の型式及び製造番号が確認できるカラー写真
- （新築住宅の場合のみ）住宅の全景写真
- （新築住宅の場合のみ）引渡し日を証明する書類 ※引渡し日証明書（様式第10号）でも可
- その他市長が認める書類

様式第9に記載の型式の機器を構成する設備全ての設置後写真が必要です。
また、交付申請時と場所が変更になった場合は、変更場所の写真も必要となります。

既存住宅の場合は不要です。

【太陽光発電一体型A・B】

- (FIT・FIP制度に基づく売電を行う場合) 再生可能エネルギー発電事業計画の認定通知書の写し
(FIT・FIP制度に基づく売電を行わない場合) 下記(ア)、(イ)のいずれか
(ア) 送配電事業者への系統の接続を証する書類及び余剰電力を売電する旨を証する書類
(イ) 系統への逆潮流を防止する装置の保証書等の写し及び設置が確認できるカラー写真
- 出力対比表の写し
- （新築住宅の場合のみ）太陽電池モジュールの配置図
- 保証書等の写し ※太陽電池モジュールは除く
- HEMSが稼働し、電力使用量等が確認できるモニター、スマートフォン等のカラー写真

完全自家消費もしくは、小売電気事業者等に対し相対・自由契約で余剰売電を行う場合が該当します。

既存住宅の場合は不要です。

【ZEH】

- (FIT・FIP制度に基づく売電を行う場合) 再生可能エネルギー発電事業計画の認定通知書の写し
(FIT・FIP制度に基づく売電を行わない場合) 下記(ア)、(イ)のいずれか
(ア) 送配電事業者への系統の接続を証する書類及び余剰電力を売電する旨を証する書類
(イ) 系統への逆潮流を防止する装置の保証書等の写し及び設置が確認できるカラー写真
- 出力対比表の写し
- 太陽電池モジュールの配置図
- 保証書等の写し ※太陽電池モジュールは除く
- HEMSが稼働し、電力使用量等が確認できるモニター、スマートフォン等のカラー写真
- BELS評価書の写し

【燃料電池システム・蓄電システム・V2H】

- 保証書等の写し

様式第9 (第10条関係)

2025年度一宮市住宅用地球温暖化対策設備設置補助金概要書

【注意事項】

本様式は補助対象設備別に定めております。右上に記載の補助対象設備の名称をよくご確認ください。
 燃料電池等の単体申請を併用する場合も、使用する本様式は太陽光一体型専用の1種類のみです。

複数の設備で実績報告をする場合、別途「燃料電池システム・蓄電システム・V2H」専用の様式は使用しないでください。

1 型式等

(1) 太陽光発電システム

※RとLがある場合は、各々の製造事業者名及び型式等を記入してください。

交付申請時と型式等に変更がある場合、別途変更申請が必要となります。

①	製造事業者名	○○○○	認証の種類	/					
	型式	●●-250◎◎							
	公称最大出力値×枚数	250							W
②	製造事業者名	○○○○	認証の種類	/					
	型式	●●-150◎◎							
	公称最大出力値×枚数	150							W
③	製造事業者名	○○○○	認証の種類	/					
	型式	●●-120◎L							
	公称最大出力値×枚数	120							W
④	製造事業者名	○○○○	認証の種類	/					
	型式	●●-120◎R							
	公称最大出力値×枚数	120							W
⑤	製造事業者名	○○○○	認証の種類	/					
	型式	●●-120◎L							
	公称最大出力値×枚数	120							W
太陽電池の公称最大出力合計値 (①～⑤の合計)		3,720	W	⇒				3.720	kW

設置する太陽電池モジュールにLとRのものを含む場合は、それぞれの枚数で分けて製造事業者名及び型式等を記入

(2) 蓄電システム※一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)のウェブサイト等でご確認ください

製造事業者名	パッケージ型番(SII登録型番)	蓄電容量
○○○○	■■■■■	5.00 kWh

(3) V2H※一般社団法人次世代自動車振興センターのウェブサイト等でご確認ください

製造事業者名	型式・型番
○○○○	△△△△

一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)に登録されている蓄電システムのパッケージ型番・蓄電容量を記入
 ※商品名や蓄電池本体の型式等は記入しないでください。

(4) HEMS

(5) 燃料電池システム※一般社団法人燃料電池普及促進協会のウェブサイト等でご確認ください

製造事業者名及び ブランド事業者名	燃料電池ユニット型式	貯湯ユニット型式 (ない場合は記入不要)	出力
<p>交付申請時と補助対象経費に変更がある場合、 別途変更申請が必要となります。</p>			kW

2 補助対象経費

各々の補助対象設備の合計費用（補助対象経費）を記入してください。

【補助対象経費内訳表】

※項目毎に計上できない場合は、費用一式を一つの項目の金額欄に記入し、摘要欄に含まれる費用の項目を記入してください。

設備	項目	金額（税抜）	摘要
太陽光発電システム	太陽電池モジュール	1,030,000 円	
	その他付属機器（架台、保護装置、配線・配線器具、直流側開閉機、交流側開閉機、接続箱、モニター等）	180,238 円	
	設置工事に係る費用	422,280 円	太陽光発電設備工事費一式
	値引き		
	計（補助対象経費）	1,632,518 円	補助対象設備の購入・設置費用（青色枠内に記載の金額）を記入し、値引き額（緑色枠内に記載の金額）を引いた金額を記入 ※Excel形式の本様式を使用する場合は、自動計算されます。
蓄電システム	リチウムイオン蓄電池	1,429,800 円	
	その他付属機器（電力変換装置、配線・配線器具等）	488,600 円	
	設置工事に係る費用	252,000 円	蓄電池設置工事費一式
	値引き	45,455 円	
	計（補助対象経費）	2,124,945 円	費用一式で内訳書や見積書上で算出されている場合は、各設備の一番上の項目の金額欄に一式の費用を、摘要欄に一式であることを明記
V2H	V2Hシステム		
	その他付属機器（切替開閉機、接続器、中継器、計測表示装置、配線・配線器具等）		
	設置工事に係る費用		
	値引き		
	計（補助対象経費）		
HEMS	データ集約機器	49,100 円	
	その他付属機器（制御装置、モニター装置、計測装置、配線・配線器具等）	51,800 円	モニター代
	設置工事に係る費用	10,000 円	HEMS設置工事費一式
	値引き		
	計（補助対象経費）	110,900 円	
燃料電池システム	燃料電池ユニット・貯湯ユニット		
	その他付属機器（リモコン、配線カバー等）		
	設置工事に係る費用・燃料電池システム試運転に係る費用		
	値引き		
	計（補助対象経費）		契約金額（税抜）から全ての設備の補助対象経費の合計（税抜）から引いた金額を記入 ※Excel形式の本様式を使用する場合は、自動計算されます。
補助対象経費以外の費用（税抜）		28,000 円	
契約金額（税抜）	契約書上に契約金額が税抜で記載されていない場合は、合計金額（税込）から消費税等を引いた金額を記入	3,896,363 円	

提出方法	提出する問合せ先（施工業者等） フリガナ イチノミヤ ジロウ 担当者名 一宮 次郎 電話番号 (0586) 45 - 4450 メール kankyoseisaku@city.ichinomiya.lg.jp	
本人・業者代行	事業者名	(株)環境政策
	定休日	土日祝